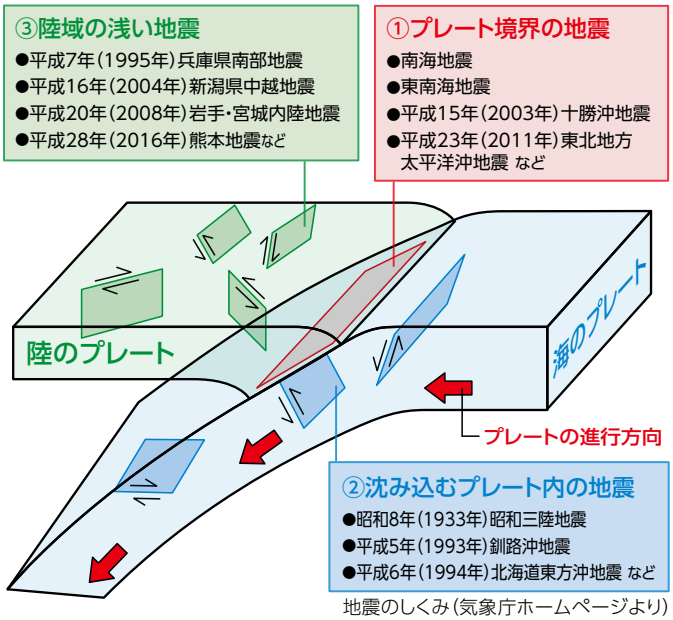
地震災害から身を守る ～揺れ～

地震のしくみ

地球の表面は、十数枚の巨大な岩盤（プレート）で覆われており、ゆっくり動いています。日本周辺では、海のプレートが沈み込む時に陸のプレートを地下へ引きずり込んでいきます。陸のプレートが引きずりに耐えられなくなり、跳ね上げられるように起こるのがプレート境界の地震です。日本周辺のプレート境界の地震の例としては、「南海地震」、「東南海地震」、「平成15年（2003年）十勝沖地震」、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」があります（右図の①）。

プレートの内部に力が加わって発生する地震が、プレート内の地震です。プレート内の地震には、沈み込むプレート内の地震と陸のプレートの浅いところで発生する地震（陸域の浅い地震）があります。

沈み込むプレート内の地震の例としては、「昭和8年（1933年）昭和三陸地震」、「平成5年（1993年）釧路沖地震」、「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」があります（右図の②）。



地震のしくみ（気象庁ホームページより）

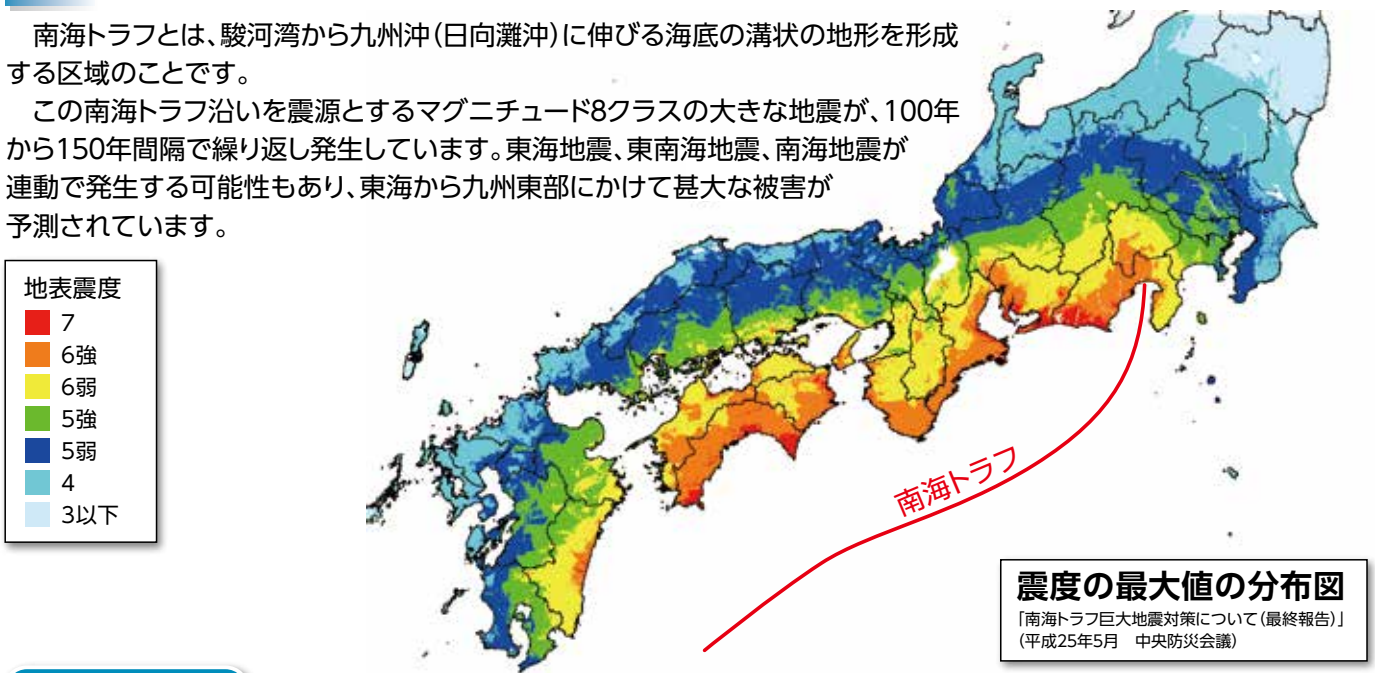
また、陸域の浅い地震の例としては、「平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）」、「平成16年（2004年）新潟県中越地震」、「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」、「平成28年（2016年）熊本地震」があります（右図の③）。

陸域の浅い地震は、プレート境界で発生する地震に比べると規模が小さい地震が多いですが、人間の居住地域に近いところで発生するため、大きな被害を伴うことがあります。

南海トラフで発生する地震

南海トラフとは、駿河湾から九州沖（日向灘沖）に伸びる海底の溝状の地形を形成する区域のことです。

この南海トラフ沿いを震源とするマグニチュード8クラスの大きな地震が、100年から150年間隔で繰り返し発生しています。東海地震、東南海地震、南海地震が連動で発生する可能性もあり、東海から九州東部にかけて甚大な被害が予測されています。



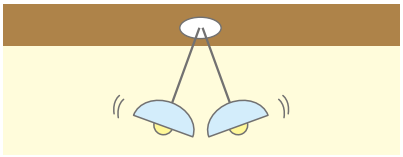
震度の最大値の分布図
「南海トラフ巨大地震対策について（最終報告）」
（平成25年5月　中央防災会議）

豊橋市の状況

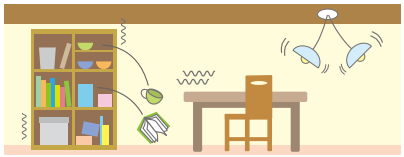
- **「東海地震に係る地震防災対策強化地域」**（東海地震の発生によって著しい被害が予想される地域）　平成14年4月指定
- **「南海トラフ地震防災対策推進地域」**（南海トラフで地震が発生した場合に著しい地震災害が生ずるおそれがある地域）　平成26年3月指定
- **「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」**（南海トラフ地震に伴い津波が発生した場合に特に著しい津波災害が生ずるおそれがある地域）　平成26年3月指定

震度と想定される被害

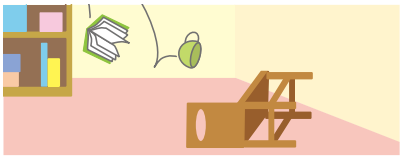
震度4
- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が倒れることがある。



震度5弱
- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



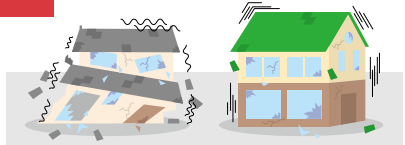
震度5強
- 物につかまらないと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



震度6弱
- 立っていることが困難になる。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強
- はわないと動くことができない。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。

震度7
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。



震度と想定される被害（気象庁ホームページより）

住宅の耐震化

自宅を地震から守るため、耐震診断で自宅の弱点を把握し、必要なところを補強するなど、すぐに地震対策を進めましょう。建物の耐震対策として、耐震化を支援する下記の補助制度があります。（制度内容は平成31年4月現在のものです）

木造住宅無料耐震診断
（下記の①～④をすべて満たす建物が対象です。）

①昭和56年5月31日以前に着工された建物
②木造住宅の在来構法・伝統構法の建物
③一戸建て住宅、店舗等併用住宅
④現在、人が住んでいる建物

診断の結果、耐震性が低かった場合、以下の4つの補助制度があります。

①木造住宅耐震改修費補助
②木造住宅段階的耐震改修費補助
③木造住宅解体工事費補助
④耐震シェルター整備費補助
※各補助制度の上限額は年度によって異なりますので、ご確認ください。

非木造住宅

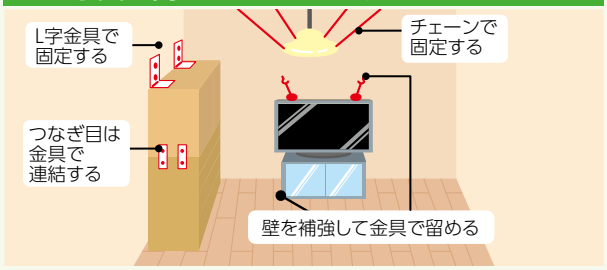
①非木造住宅の耐震診断費補助制度（上限 診断対象経費の3分の2以内の額）
②非木造住宅の耐震改修費補助制度（上限額があります）
※補助金額は構造形式・建物規模により異なりますので、お問い合わせください。

住宅の耐震化についてのお問い合わせ先	豊橋市役所建設部建築物安全推進室	電話：0532-51-2579　メール：kenchikuanzen@city.toyohashi.lg.jp ホームページ：http://www.city.toyohashi.lg.jp/25135.htm

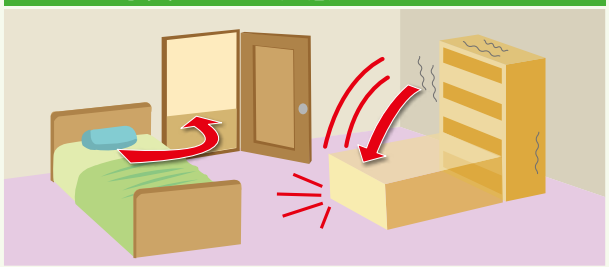
まめ知識　家具の転倒から身を守るには？

阪神・淡路大震災では、家具の下敷きになり命を失う人もたくさんいました。万一地震が起きた時、家具の落下で頭をぶつけたり、下敷きにならないよう、家具や電化製品を固定したり、配置に注意することで被害を抑えることができます。

家具が倒れないように固定しましょう！



家具の配置に注意しましょう！



地震災害から身を守る ～揺れ～

豊橋市南海トラフ地震被害予測調査結果

豊橋市では、南海トラフで発生する地震・津波を想定した「豊橋市南海トラフ地震被害予測調査」を実施し、調査結果を平成26年8月28日に公表しました。南海トラフで発生する地震は多様性があり、予測困難ではありますが、効果的な防災・減災対策の実施につなげていくため、過去に実際に発生した地震を参考とする「過去地震最大モデル」と、あらゆる可能性を考慮して最大クラスの地震を想定した「理論上最大想定モデル」の2つのモデルケースによる被害予測調査を実施し、小学校区ごとに被害量を算出しました。

過去地震最大モデル ＜地震・津波の想定結果（概要）＞

地震・津波の規模		内閣府にて検討中	
最大震度		震度6強	
津波	到達時間（津波高30cm）※1	太平洋側　最短7分	三河湾側　最短77分
	最大津波高（T.P.）※2	太平洋側　6.9m	三河湾側　2.7m

理論上最大想定モデル ＜地震・津波の想定結果（概要）＞

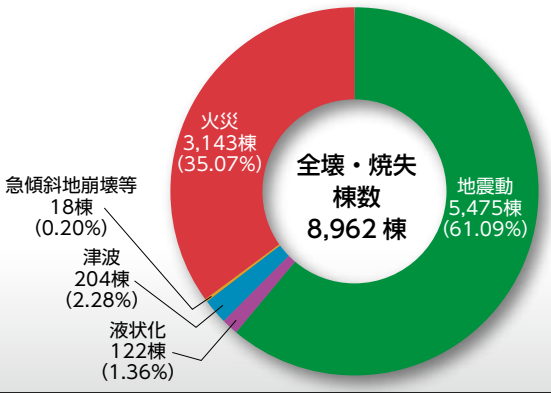
地震・津波の規模		マグニチュード9.0（津波マグニチュード9.1）	
最大震度		震度7	
津波	到達時間（津波高30cm）※1	太平洋側　最短4分	三河湾側　最短77分
	最大津波高（T.P.）※2	太平洋側　19.0m	三河湾側　2.9m

※1：津波の到達時間は、高さ30cmの津波が地震発生後最短で沿岸に到達するまでの時間。

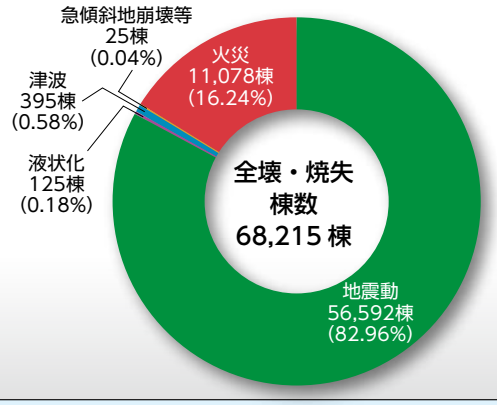
※2：最大津波高は、東京湾平均海面（T.P.±0m）から想定津波水位までの高さの最大値。地震が発生すると地盤の沈降が予想されるが、沈下前の現状の町並みの中で、どこまで津波が到達するのかを示すため、津波高は地盤沈下を加味した値としている。（P.8下図参照）

全壊・焼失棟数原因別内訳

過去地震最大モデル

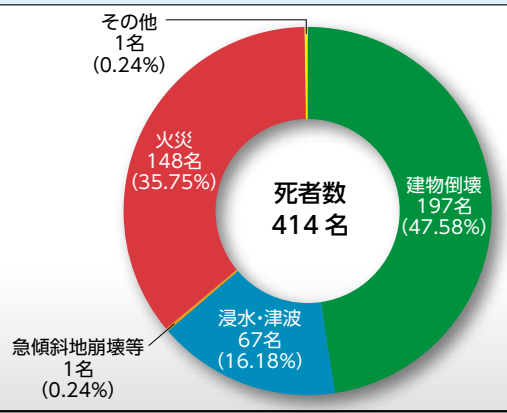


理論上最大想定モデル

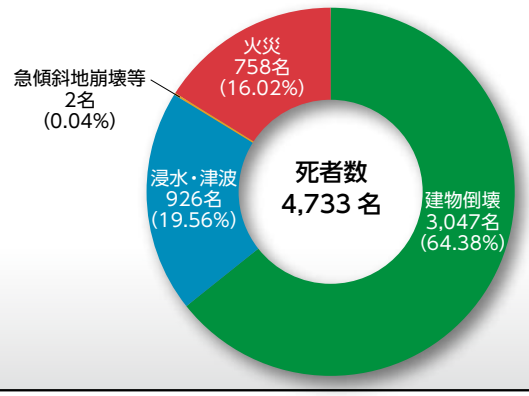


死亡原因別内訳

過去地震最大モデル



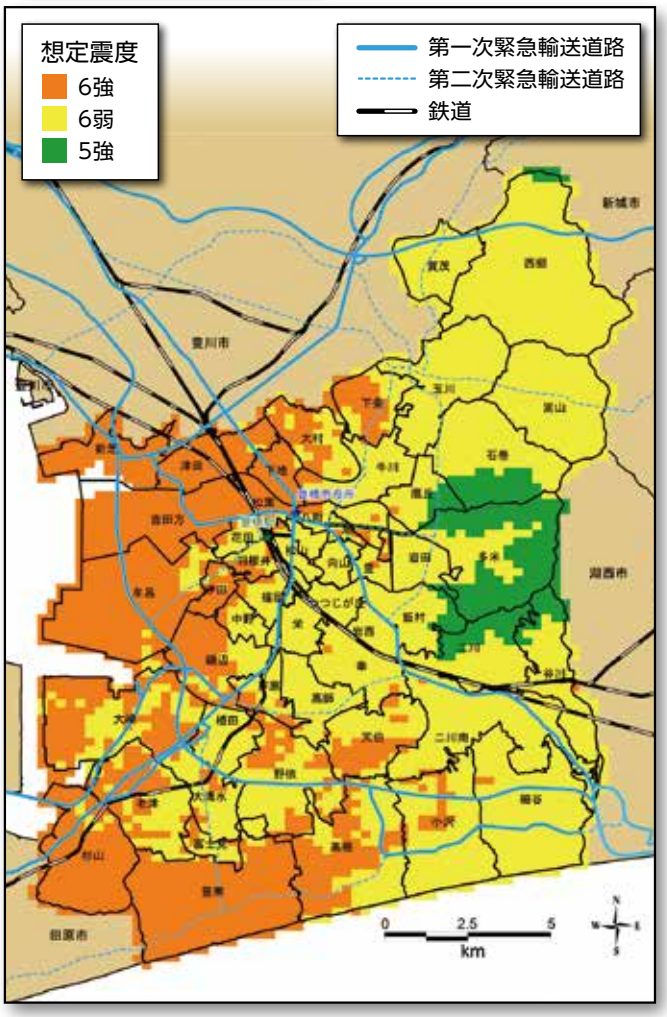
理論上最大想定モデル



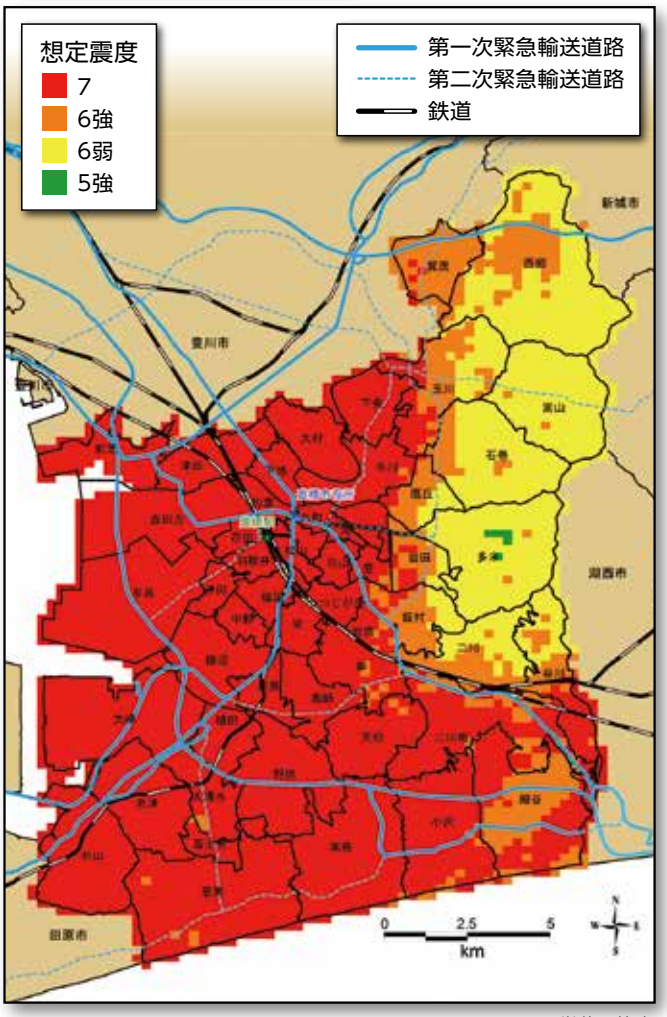
※端数処理の関係で各数値の和が100%にならない場合があります。

地震動予測結果

過去地震最大モデル



理論上最大想定モデル



※250mメッシュ単位で算定

公開型GIS（地理情報システム）「ちずみる豊橋」

豊橋市では、インターネットを利用して防災、施設、観光などの地図情報を配信するサービス「ちずみる豊橋」を平成26年度より開始しました。南海トラフ地震被害予測調査の震度分布や液状化危険度、想定される津波の浸水深などについても、お住まいの地域の詳細な情報をご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

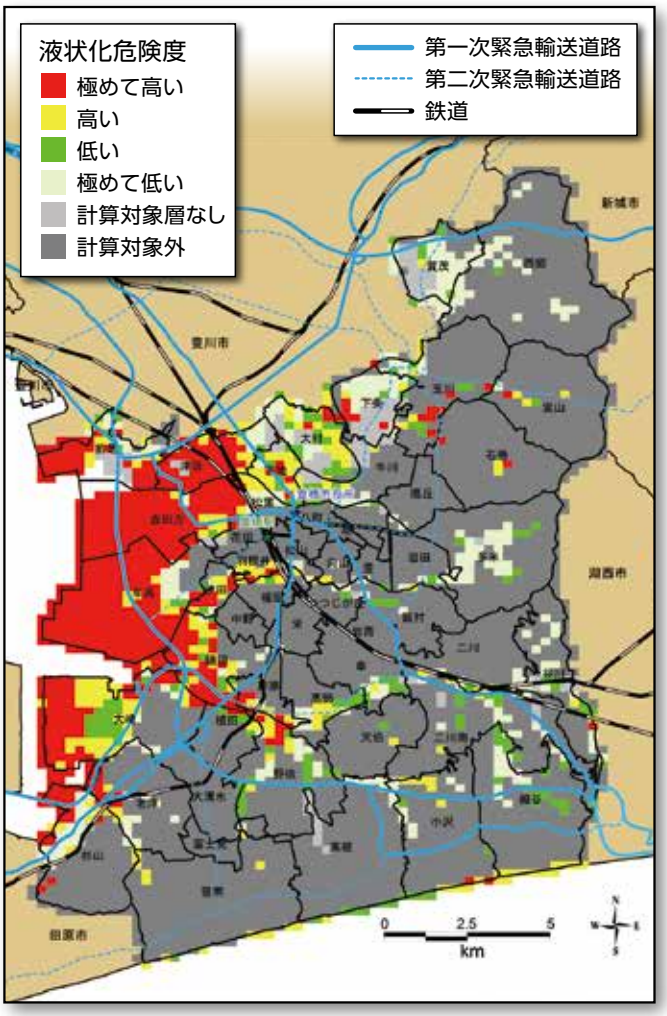
ホームページ：http://www2.wagmap.jp/toyohashi/

QRコード

地震災害から身を守る ～液状化～

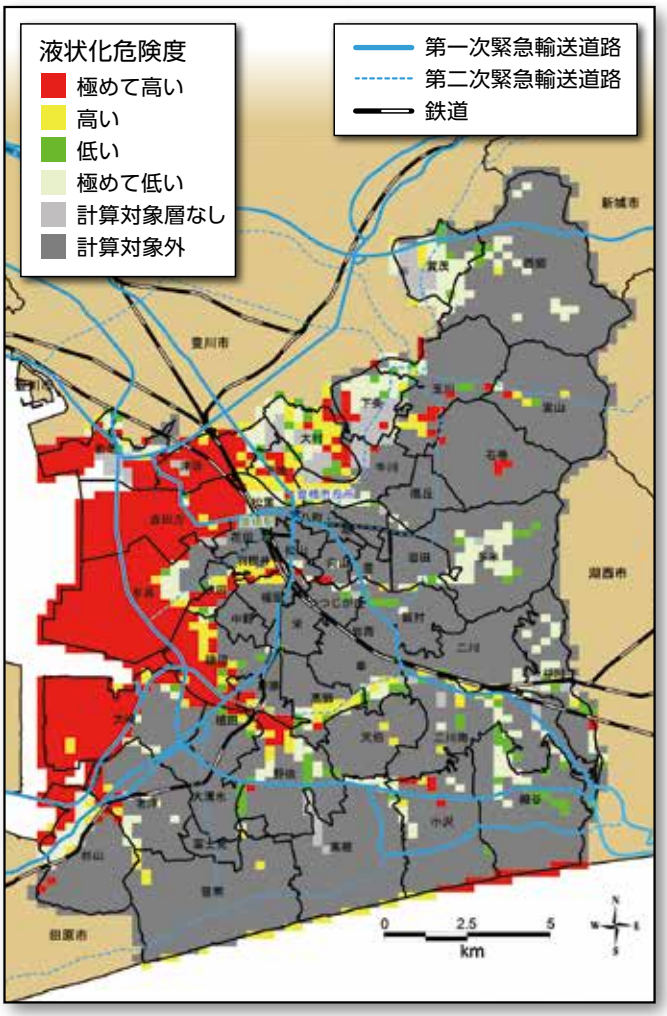
液状化危険度予測結果

過去地震最大モデル



対象層なし：地表面の状況などから液状化しないと考えられるもの
計算対象外：地上の地形から明らかに液状化しないと考えられるもの

理論上最大想定モデル

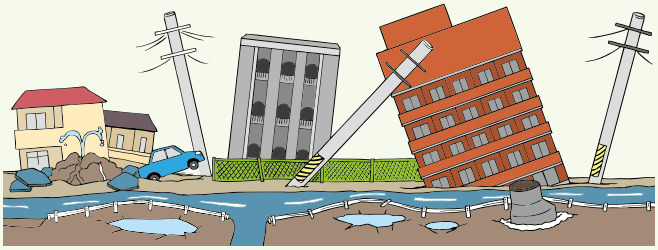


※250mメッシュ単位で算定。
※危険度判定には地盤改良等の液状化対策効果は見込んでいない。

まめ知識 液状化

液状化が起こると、地盤中の砂が水と一緒に噴き出してくる噴砂や噴水が発生し、道路が沈下したり、段差ができるなどの被害が生じます。

さらに、液状化した地盤は建物を支える力が小さくなってしまうので、基礎がしっかりしていない家屋やビルなどの重い構造物は沈下したり傾斜したりしてしまいます。また、液状化した地盤は泥水のようになるので、マンホールや下水管などのように中が空洞で軽い構造物は浮き上がってしまいます。



マンホールの浮き上がり
（2011年東北地方太平洋沖地震）

液状化により走行不能になった道路
（1995年兵庫県南部地震）

液状化によって道路が通行できなくなった場合に、道路上に放置された車両が救助活動の妨げとなることがありますので、徒歩で避難するようにしましょう。

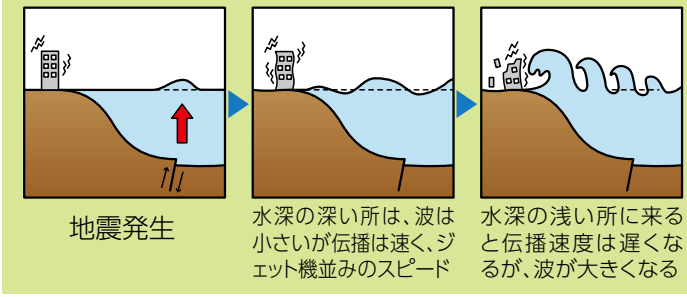
また、避難する時は傾いた建物や電柱、ブロック塀には近づかないようにしましょう。

地震災害から身を守る ～津波～

地震とセットで起こる「津波」

発生メカニズム

津波は、海底で発生する地震に伴い、海底地盤の隆起・沈降や海底地すべりが起こり、周囲の海水に上下動が発生して、大波が繰り返し引き起こされる現象です。津波が沿岸に達すると、防潮堤などを乗り越えて浸水が起こり、家屋の破壊や流出、船舶の損傷・衝突などを引き起こします。三河湾の最奥部に位置する三河湾側は、押し波として津波が進入してきますが、太平洋側と比較しその流速は弱まっています。



ここに注意！

●スピードが速く、地震発生から短時間で襲来。一刻も早い行動を。

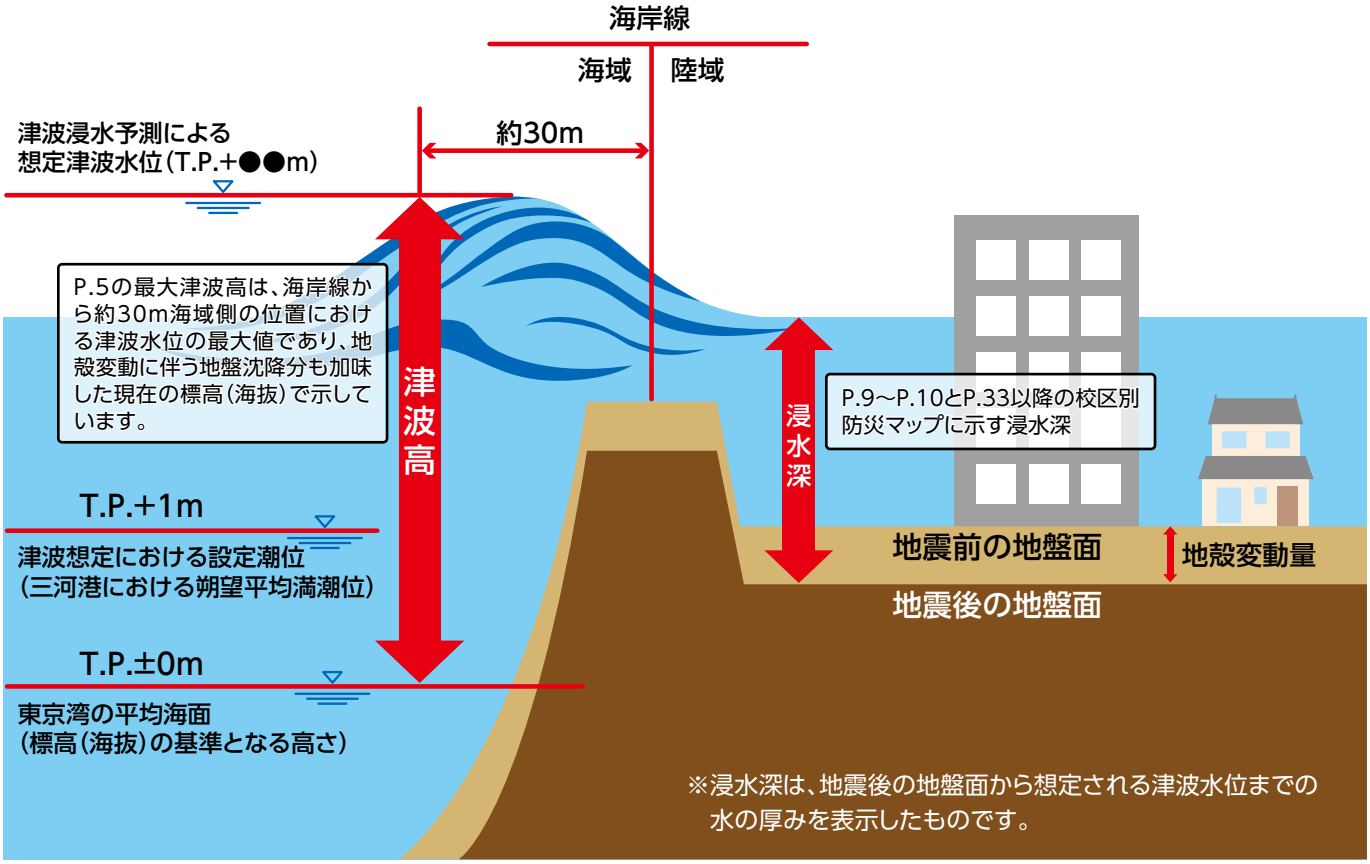
●津波が河川を遡上して、河川から水があふれる可能性も大きい。川の流れに対して直角に避難する。

●「より速く」ではなく「より高く」が重要。強い地震を感じたり、弱い地震でも長時間揺れを感じたら、直ちに海浜や河川から離れ、急いで高台などに避難する。

●津波は繰り返しやって来て、第二波、第三波の方が大きいこともある。注意報や警報が解除されるまで海浜や河川には近づかない。

（豊橋市の海抜表示板）

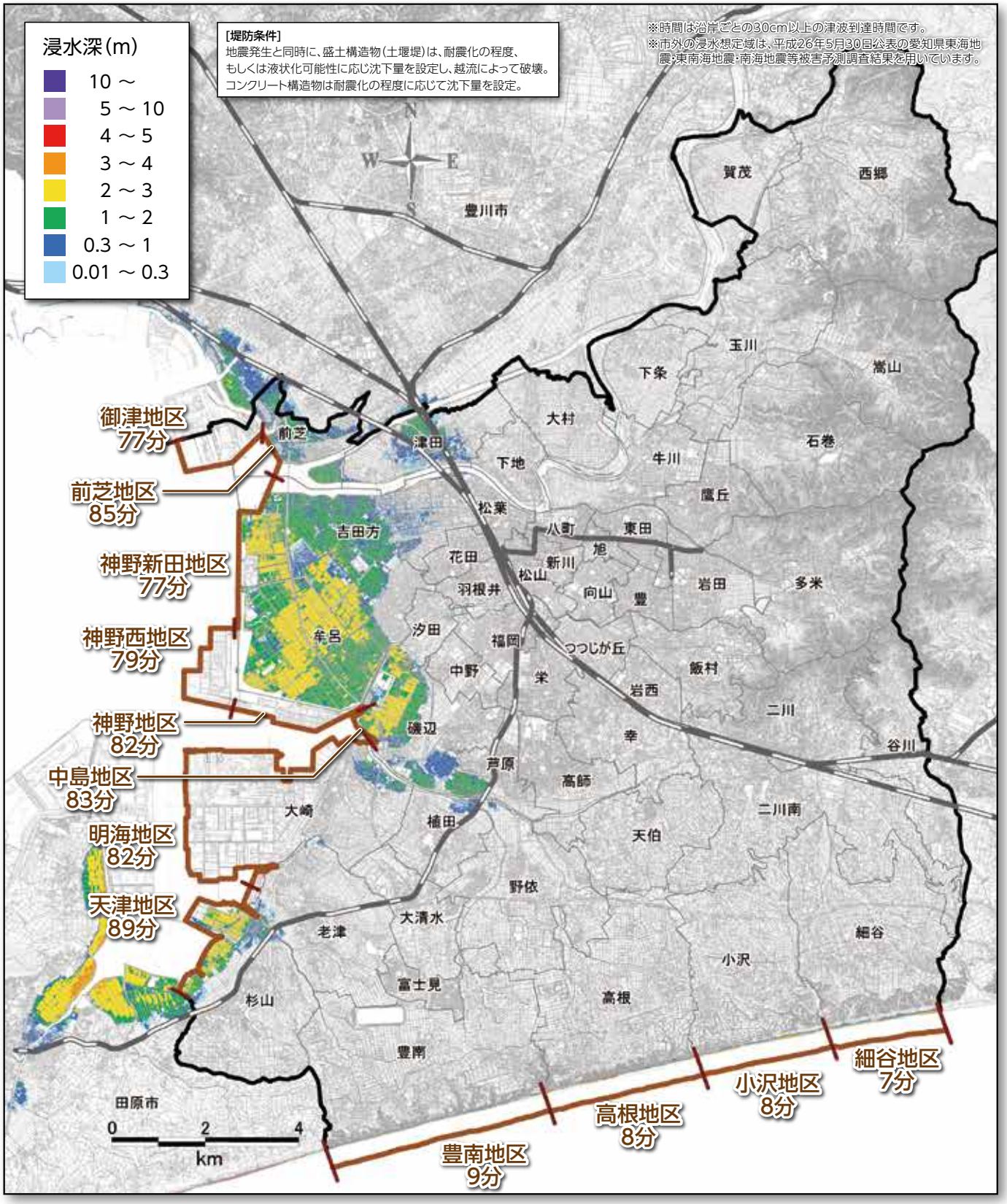
津波の概念



地震災害から身を守る ～津波～

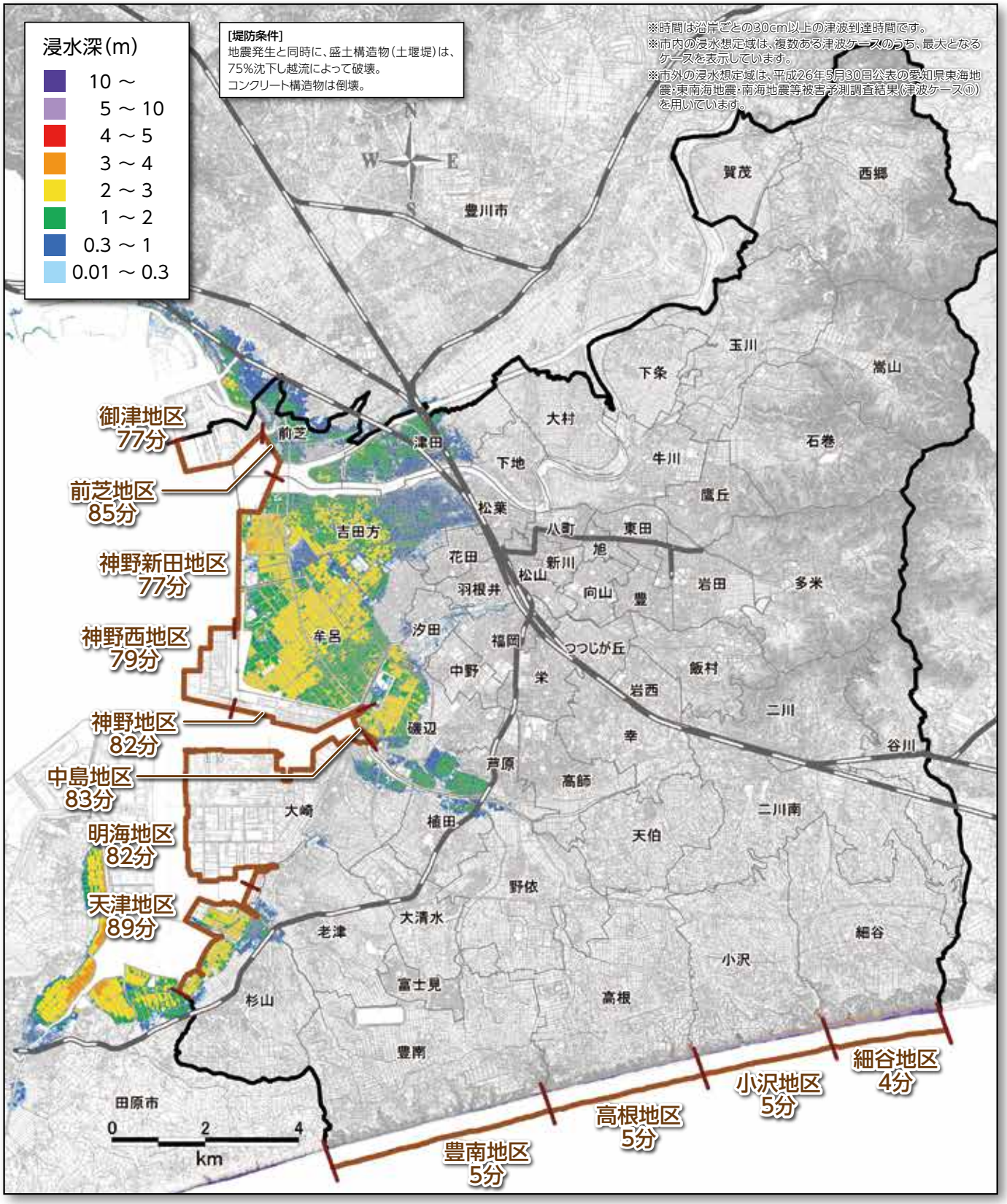
津波による浸水が想定される地域と想定浸水深

過去地震最大モデル



標高図はホームページでご確認いただけます	豊橋市役所防災危機管理課　http://www.city.toyohashi.lg.jp/6922.htm 国土地理院　電子国土web　http://www.gsi.go.jp/

理論上最大想定モデル


浸水深(m)
10 ～
5 ～ 10
4 ～ 5
3 ～ 4
2 ～ 3
1 ～ 2
0.3 ～ 1
0.01 ～ 0.3
[堤防条件]
地震発生と同時に、盛土構造物(土堰堤)は、75%沈下し越流によって破壊。
コンクリート構造物は倒壊。
※時間は沿岸ごとの30cm以上の津波到達時間です。
※市内の浸水想定域は、複数ある津波ケースのうち、最大となるケースを表示しています。
※市外の浸水想定域は、平成26年5月30日公表の愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(津波ケース①)を用いています。
N
W
E
S
御津地区 77分
前芝地区 85分
神野新田地区 77分
神野西地区 79分
神野地区 82分
中島地区 83分
明海地区 82分
天津地区 89分
豊川市
賀茂
西郷
玉川
下条
嵩山
大村
石巻
牛川
下地
鷹丘
松葉
八町
東田
旭
吉田方
花田
新川
松山
羽根井
向山
豊
岩田
多米
汐田
福岡
つつじが丘
中野
栄
岩西
飯村
二川
幸
谷川
芦原
高師
大崎
植田
二川南
天伯
野依
大清水
老津
細谷
小沢
富士見
高根
杉山
豊南
田原市
0
2
4
km
細谷地区 4分
小沢地区 5分
高根地区 5分
豊南地区 5分

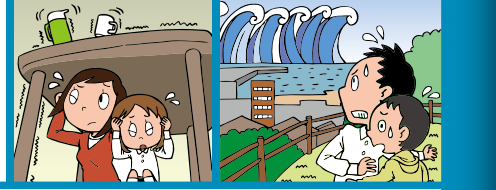
小学校区別地震被害予測結果総括表

過去地震最大モデル

小学校区	建物被害（冬・夕方発災時）（棟）								人的被害（冬・夕方発災時）（人）		避難者（発災1週間後）（冬・夕方発災時）（人）		
	建物棟数	全壊・焼失棟数							人口 夕方18時	死者数 合計	避難者数計		
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地	火災	合計	全壊・焼失率				避難所	避難所外
1 岩田	4,461	77	*	*	*	97	174	4%	11,046	8	2,967	1,481	1,486
2 豊	2,711	80	*	*	*	73	154	6%	5,670	6	1,605	801	804
3 東田	3,406	135	*	*	*	302	438	13%	6,892	20	2,268	1,132	1,137
4 八町	1,647	75	*	*	*	25	100	6%	5,376	4	875	437	438
5 松葉	2,828	307	*	*	*	185	493	17%	7,312	22	2,217	1,107	1,110
6 花田	2,797	228	*	*	*	234	462	17%	6,918	19	2,064	1,030	1,034
7 松山	2,851	135	*	*	*	17	153	5%	13,038	7	1,534	765	768
8 新川	2,219	89	*	*	*	22	110	5%	6,987	5	1,118	558	560
9 羽根井	3,080	179	2	*	*	71	251	8%	9,645	10	2,339	1,167	1,172
10 下地	2,612	277	3	*	*	98	377	14%	7,212	15	1,866	933	933
11 大村	1,554	86	1	*	*	14	101	6%	4,945	3	817	408	410
12 津田	1,792	173	22	11	*	11	217	12%	5,108	11	1,224	783	440
13 牟呂	4,799	229	16	115	*	90	449	9%	18,072	43	4,455	3,003	1,450
14 汐田	1,542	107	1	3	*	14	125	8%	5,928	4	1,817	934	883
15 吉田方	5,905	522	29	34	*	298	883	15%	18,775	42	5,634	3,086	2,548
16 高師	4,495	101	*	*	*	414	516	11%	9,192	23	3,422	1,708	1,714
17 幸	5,174	108	*	*	*	156	264	5%	12,609	11	3,289	1,641	1,648
18 芦原	2,564	68	1	*	1	64	134	5%	4,984	5	1,624	814	811
19 福岡	4,232	149	1	*	*	143	293	7%	10,907	12	3,057	1,526	1,532
20 中野	2,298	71	*	*	*	48	119	5%	7,718	5	1,802	899	903
21 磯辺	3,236	138	8	20	1	84	252	8%	9,277	13	2,746	1,517	1,229
22 大崎	2,211	120	15	2	*	28	165	7%	20,616	7	934	484	450
23 野依	2,434	110	*	*	*	15	125	5%	7,721	3	1,583	790	793
24 植田	1,856	66	*	*	*	8	74	4%	4,299	3	992	495	497
25 牛川	3,037	70	*	*	*	25	96	3%	9,284	4	1,771	884	887
26 鷹丘	4,082	67	*	*	*	39	105	3%	9,279	4	2,427	1,211	1,216
27 下条	865	50	*	*	*	2	53	6%	2,737	2	332	166	166
28 多米	3,196	24	*	*	1	4	29	1%	7,819	1	1,927	961	965
29 岩西	2,501	36	*	*	*	30	66	3%	6,043	3	1,637	817	820
30 飯村	3,970	38	*	*	*	18	56	1%	9,854	2	2,192	1,094	1,098
31 つつじが丘	2,649	35	*	*	*	13	48	2%	8,268	2	1,701	849	852
32 旭	1,847	85	*	*	*	146	230	12%	3,706	10	1,157	577	580
33 栄	4,455	78	*	*	*	106	184	4%	11,363	9	3,048	1,521	1,527
34 天伯	1,884	69	*	*	*	4	73	4%	4,321	2	1,128	563	565
35 大清水	2,229	96	*	*	*	18	115	5%	6,275	4	1,563	780	783
36 富士見	2,197	104	*	*	*	13	117	5%	5,507	3	1,783	890	893
37 向山	2,888	88	*	*	*	72	160	6%	6,752	7	1,551	774	777
38 前芝	1,693	152	9	14	*	72	247	15%	4,274	20	1,265	835	429
39 西郷	1,366	11	*	*	2	*	14	1%	3,053	1	422	211	212
40 玉川	2,333	28	7	*	*	4	40	2%	5,335	1	929	464	465
41 嵩山	723	7	*	*	1	1	9	1%	1,302	*	280	140	140
42 石巻	855	8	1	*	1	1	11	1%	2,402	*	517	258	259
43 谷川	1,057	13	*	*	*	1	14	1%	6,834	1	409	204	205
44 小沢	1,182	40	*	*	*	1	42	4%	3,303	1	536	267	268
45 細谷	1,438	37	*	*	*	1	38	3%	3,877	2	519	259	260
46 二川	3,195	35	*	*	*	23	58	2%	8,123	2	1,542	769	772
47 二川南	3,937	70	*	*	*	9	79	2%	11,506	3	1,637	817	820
48 豊南	1,356	171	*	*	3	3	177	13%	4,445	7	767	383	384
49 高根	1,195	79	*	*	2	1	83	7%	3,953	3	548	273	274
50 老津	1,835	146	3	*	1	12	163	9%	4,202	8	894	453	442
51 杉山	1,814	199	*	4	2	13	218	12%	3,687	9	1,276	681	595
52 賀茂	693	8	*	*	*	1	10	1%	1,613	*	239	119	120
市　計	133,174	5,475	122	204	18	3,143	8,962	7%	379,362	414	86,245	44,719	41,526

＊：わずか
※端数処理のため合計が各数値の和に一致しない場合があります。
※避難者数は「過去地震最大モデル」についてのみ想定しています。また、避難者数は発災1週間後に最大となると想定されています。

建物棟数：平成24年1月1日時点
人　　口：平成22年国勢調査による



理論上最大想定モデル

小学校区	建物被害（冬・夕方発災時）(棟)								人的被害（冬・深夜発災時）(人)	
	建物棟数	全壊・焼失棟数							人口 深夜5時	死者数 合計
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地	火災	合計	全壊・焼失率		
1 岩田	4,461	1,056	*	*	*	389	1,445	32%	15,191	92
2 豊	2,711	1,327	*	*	*	372	1,699	63%	7,457	102
3 東田	3,406	2,063	*	*	*	695	2,758	81%	8,272	196
4 八町	1,647	1,045	*	*	*	108	1,153	70%	3,915	65
5 松葉	2,828	1,589	*	1	*	380	1,971	70%	6,924	126
6 花田	2,797	1,359	1	*	*	543	1,903	68%	6,619	114
7 松山	2,851	1,551	*	*	*	76	1,627	57%	7,006	76
8 新川	2,219	1,406	*	*	*	99	1,505	68%	5,261	75
9 羽根井	3,080	1,552	2	*	*	269	1,823	59%	9,670	106
10 下地	2,612	1,305	3	*	*	286	1,594	61%	6,147	84
11 大村	1,554	720	1	*	*	71	793	51%	3,574	38
12 津田	1,792	838	22	14	*	35	909	51%	3,931	87
13 牟呂	4,799	1,883	16	248	*	327	2,473	52%	12,822	295
14 汐田	1,542	617	1	8	*	55	681	44%	7,175	47
15 吉田方	5,905	2,948	31	57	*	737	3,773	64%	16,954	611
16 高師	4,495	2,388	*	*	*	1,038	3,427	76%	12,941	257
17 幸	5,174	2,094	*	*	*	704	2,798	54%	15,533	169
18 芦原	2,564	1,464	1	*	2	353	1,819	71%	7,568	116
19 福岡	4,232	2,290	1	*	*	513	2,804	66%	13,451	170
20 中野	2,298	1,050	*	*	*	222	1,272	55%	8,447	70
21 磯辺	3,236	1,584	9	47	1	326	1,967	61%	10,677	153
22 大崎	2,211	950	15	1	1	75	1,042	47%	3,669	59
23 野依	2,434	1,315	*	*	*	79	1,394	57%	7,261	65
24 植田	1,856	993	*	*	*	51	1,044	56%	4,785	61
25 牛川	3,037	1,668	*	*	*	186	1,854	61%	9,082	102
26 鷹丘	4,082	725	*	*	*	232	957	23%	12,968	49
27 下条	865	409	*	*	*	12	421	49%	1,496	21
28 多米	3,196	16	*	*	1	5	22	1%	11,364	1
29 岩西	2,501	788	*	*	*	248	1,036	41%	8,800	58
30 飯村	3,970	684	*	*	*	177	861	22%	12,618	47
31 つつじが丘	2,649	963	*	*	*	136	1,099	41%	9,567	55
32 旭	1,847	1,268	*	*	*	321	1,589	86%	4,217	110
33 栄	4,455	2,067	*	*	*	706	2,774	62%	15,303	165
34 天伯	1,884	733	*	*	*	32	764	41%	5,402	40
35 大清水	2,229	1,048	*	*	*	95	1,144	51%	7,199	57
36 富士見	2,197	883	*	*	*	80	963	44%	8,120	46
37 向山	2,888	1,883	*	*	*	318	2,201	76%	7,220	134
38 前芝	1,693	1,011	9	14	*	172	1,206	71%	4,019	187
39 西郷	1,366	67	*	*	2	1	71	5%	2,439	4
40 玉川	2,333	518	7	*	1	44	570	24%	5,152	30
41 嵩山	723	10	*	*	1	2	13	2%	1,595	1
42 石巻	855	82	1	*	1	7	90	11%	2,937	5
43 谷川	1,057	189	*	*	1	6	196	19%	2,337	10
44 小沢	1,182	491	*	1	1	9	501	42%	2,566	27
45 細谷	1,438	533	*	*	*	7	540	38%	2,625	29
46 二川	3,195	451	*	*	*	244	695	22%	8,598	37
47 二川南	3,937	1,343	*	*	*	113	1,456	37%	9,015	78
48 豊南	1,356	683	*	*	3	9	695	51%	2,535	34
49 高根	1,195	582	*	*	3	7	592	50%	2,221	29
50 老津	1,835	1,042	3	*	2	45	1,093	60%	3,599	68
51 杉山	1,814	905	*	3	2	50	960	53%	4,179	65
52 賀茂	693	166	*	*	*	10	177	25%	1,352	11
市　計	133,174	56,592	125	395	25	11,078	68,215	51%	373,775	4,733

＊：わずか
※端数処理のため合計が各数値の和に一致しない場合があります。

建物棟数：平成24年1月1日時点
人　　口：平成22年国勢調査による

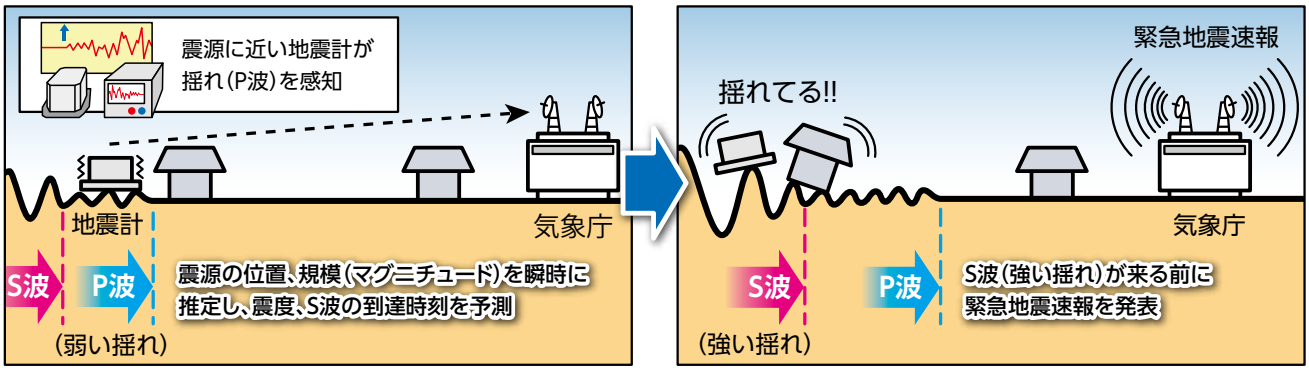
地震災害から身を守る

緊急地震速報のしくみ

地震が発生すると、震源からは揺れが波（地震波）となって地面を伝わっていきます。地震波にはP波（Primary「最初の」の頭文字）とS波（Secondary「二番目の」の頭文字）があり、P波の方がS波より速く伝わる性質があります。一方、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくるS波です。このため、地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わるP波を検知した段階でS波が伝わってくる前に危険が迫っていることを知らせることが可能になります。

最大震度5弱以上の揺れが予想される時に、震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。

※震源に近い地域では、緊急地震速報が間に合わないことがあります。



緊急地震速報のしくみ（気象庁ホームページより）

速度　P波：秒速約7km　S波：秒速約4km

緊急地震速報を見聞きした時の行動は、まわりの人に声をかけながら

「**周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する**」ことが基本です。

さまざまな場面において緊急地震速報を見聞きした時に取るべき行動の具体例は下記の通りです。

屋内にいる時

家庭では

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。

あわてて外に飛び出さないでください。

無理に火を消そうとしないでください。

人がおおぜいいる施設では

施設の係員の指示に従ってください。

落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。

乗り物にのっている時

自動車運転中は

あわててスピードをおとさないでください。

ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。

急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。

大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。

鉄道やバスなどに乗車中は

つり革や手すりにしっかりつかまってください。

エレベーターでは

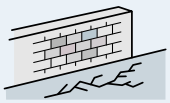
最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。

屋外にいる時

街中では

ブロック塀の倒壊等に注意してください。

看板や割れたガラスの落下に注意してください。



丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。

山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意してください。

（気象庁ホームページより）

豊橋市における地震による津波の歴史

東三河地域8市町村（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村）から構成される「東三河地域防災協議会」は、東三河地域沿岸域の津波の歴史やその被害を受けた地区等について調査し、「愛知県東三河地域における地震による津波の歴史」のパンフレットを作成しました。

パンフレットは市ホームページでもご覧いただけます。

ホームページ：http://www.city.toyohashi.lg.jp/7002.htm

知ってて得する
災害時の医療体制について

大規模災害が発生すると、多くの負傷者が出るおそれがあります。また、地域の医療機関も被害を受け、機能しなくなることが予想されます。

この様な事態になった場合、負傷者に対し応急的な救護活動を実施するため、『応急救護所』が開設されます。

応急救護所での救護活動は、診療所等の医療体制が整えば、診療所等での診療と各避難所への巡回診療に移行していきます。

軽症者

中等症者

重症者

応急救護所

中学校区に1か所と休日夜間急病診療所、明海地区産業基地に設置し、トリアージ※1活動と応急処置を行い、限られた医療資源のもとで最大多数の傷病者に最善を尽くします。

業務内容

◎トリアージ※1

◎軽症者の手当

◎中等症者※2、重症者の搬送前の応急処置

※1 治療の優先順位付け

※2 治療は要するが生命に危険がない方。手足の骨折等
（医師等のトリアージにより判断します。）

中学校区名等	設置場所	中学校区名等	設置場所
豊岡	豊岡中学校	南稜	大清水小学校
中部	新川小学校	北部	北部中学校
豊城	八町小学校	前芝	前芝中学校
青陵	青陵中学校	石巻	石巻中学校
羽田	花田小学校	二川	二川小学校
牟呂	牟呂小学校	五並	五並中学校
吉田方	吉田方小学校	高豊	高豊中学校
南部	南部中学校	章南	章南中学校
高師台	高師台中学校	東部	岩西小学校
本郷	高師小学校	南陽	中野小学校
東陽	東陽中学校	基幹救護所	休日夜間急病診療所
東陵	鷹丘小学校		
		合計	23か所

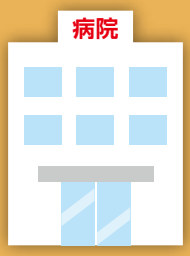
産業基地応急救護所

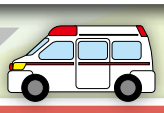
地区名	設置場所
明海地区	明海少年広場

後方収容病院

後方収容病院とは、応急救護所から搬送された中等症者、重症者を治療する医療機関です。

市内にある一般病床を有する「光生会病院」、「成田記念病院」、「弥生病院」、「二川病院」、「太田整形外科」など、15医療機関と産科6医療機関となります。

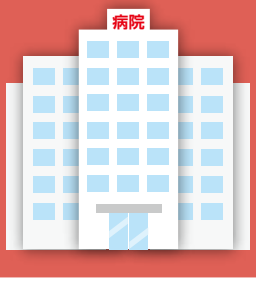




災害拠点病院

災害拠点病院は、被災地からの重症患者等の受け入れ拠点及び広域搬送の拠点となる病院で、『豊橋市民病院』と『豊橋医療センター』が指定されています。

応急救護所や後方収容病院から搬送された、重症者を治療する医療機関です。



災害時の医療体制についてのお問い合わせ先	豊橋市役所健康部健康政策課	電話：0532-39-9111 メール：kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp